

成果指標				
成果指標	使用料金収入÷一般管理費(直接事業費)			
指標設定の考え方	簡易水道施設を維持管理するための事務的経費で、料金収入に占める一般管理費の割合を数値化し年度比較することで、費用対効果を常に意識した事務の遂行が可能となる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	6	14.22	0	0
実績	9.83	1.47	17.56	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中山・双海地域の簡易水道施設においては、人口の少子化、高齢化、若者などの流失が益々増し、併せて節水意識の高揚などで以前よりも使用水量の減少が顕著の現れている。今後、更なる事務の効率化を図り、今以上の経費節減に努める必要がある。いずれにしても経営効率の低いこの事業においては、水道料金の見直しは課題である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	簡易水道施設は、中山・双海の中山間地域に存在し、将来にわたって持続的な経営ができるよう円滑な運営を行う必要があることから、経営の効率化や更なる経費削減を図るとともに、水道料金の見直しや上水道への経営統合も視野にいれて早急に検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題